

2014 年度環境教育 WG の取り組み内容について

1 教科学習での釧路湿原の活用促進を目的とした授業の作成支援

北海道教育大学釧路校の境智洋准教授と連携し、釧路湿原を題材とした単元指導計画の作成、実践を行った。環境教育ワーキンググループでは、釧路湿原に関する資料や情報の提供、協同での現地取材等の作成支援を行った。実践の概要は次のとおり。

- ・対象学年：小学校 6 年生
- ・該当単元：理科 土地のつくりと変化
- ・実施内容：参考資料 1 参照
- ・実践状況：北海道教育大学附属釧路小学校 6 年生児童（5 月から 6 月中の 9 時間）
鶴居村立鶴居小学校、下幌呂小学校 6 年生児童（12 月 19 日 2 時間）

2 教員研修講座の実施

釧路教育研究センターと共催して、理科や社会科の視点からフィールドワークを主体とした教員研修講座を実施した。

○体感！釧路湿原～理科と社会の視点から

実施日時：2014 年 6 月 26 日（木）9 時 30 分～16 時 00 分

実施場所：鶴居村下久著呂

参加者数：12 名

主な内容：講話「タンチョウの生息環境とタンチョウをとりまく環境」
「住民にもタンチョウにも暮らしやすい地域社会を目指して」
体験「自然河川（久著呂川、渡辺川）でのタンチョウの餌資源の観察」
活動「デントコーン畑の食害実態の把握、農家さんからの話」

講師：音成 邦仁 氏（タンチョウコミュニティ代表）

共催：釧路教育研究センター

※参考資料 2、参考資料 3 参照

今後、2 月 14 日に、以下の公募講座を実施する予定としている。

○体感！釧路湿原～授業での活用を考える

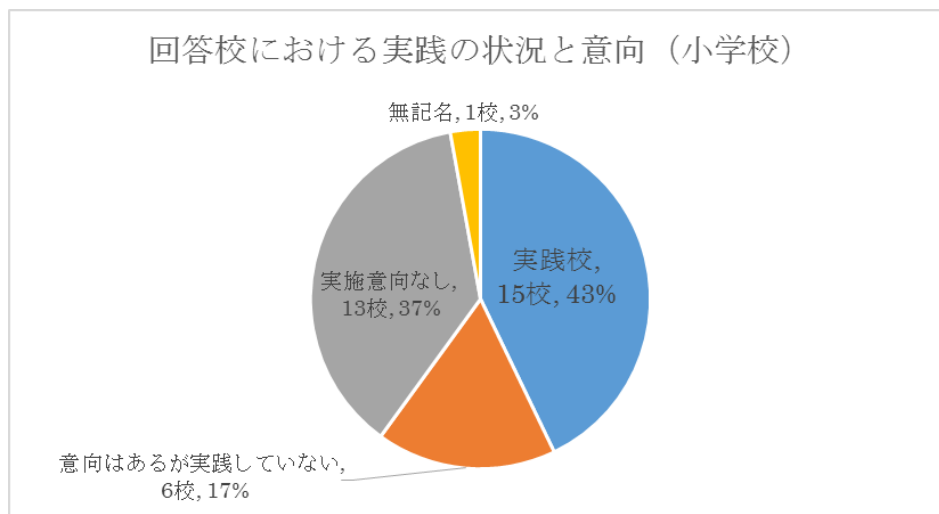
- 実施日時 : 2015年2月14日(土) 9時30分～15時30分
実施場所 : 鶴居村温根内、中久著呂
参加者数 : 釧路管内の小学校、中学校教員5名程度を予定
主な内容 : 釧路湿原周辺の地層や河川の侵食箇所の観察
北海道教育大学附属釧路小学校での実践授業
教科学習での釧路湿原の活用に向けた意見交換
講師 : 境 智洋 氏 (北海道教育大学 釧路校 准教授)

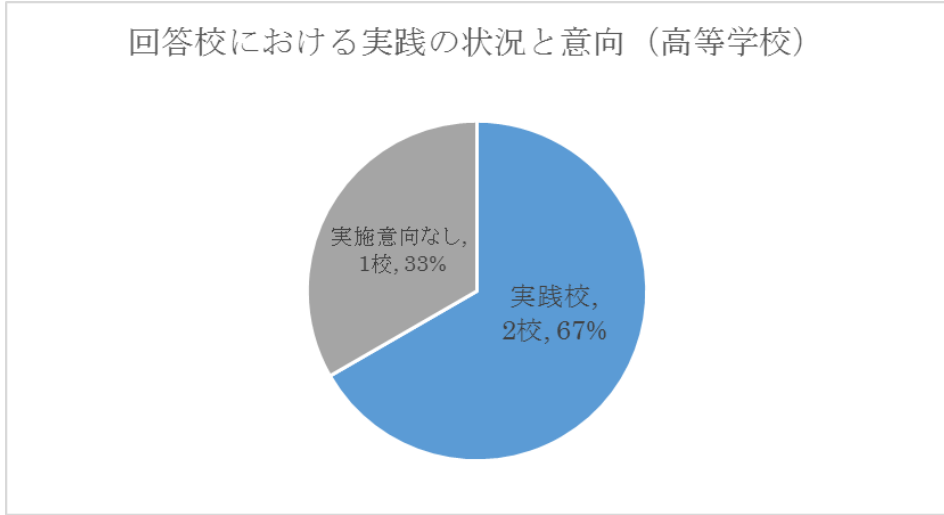
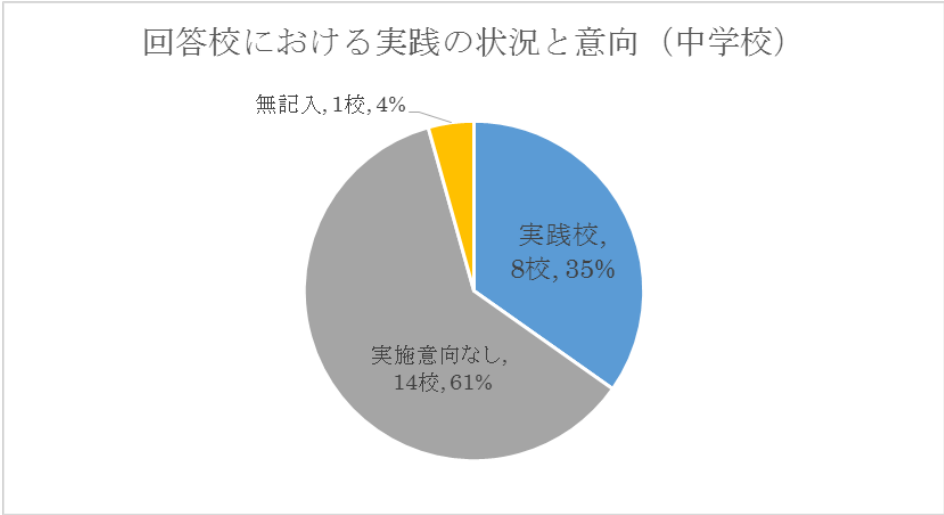
3 流域圏の小学校、中学校、高等学校を対象としたアンケート調査の実施

学校での総合的な学習の時間における取り組みテーマ、釧路湿原や釧路川を題材とした学習の実施状況、環境教育WGにおいて作成した資料等の活用状況等を把握する目的から、市町村教育委員会、北海道教育庁釧路教育局の協力を得て、各学校にアンケート調査を行い、以下の結果を得た。

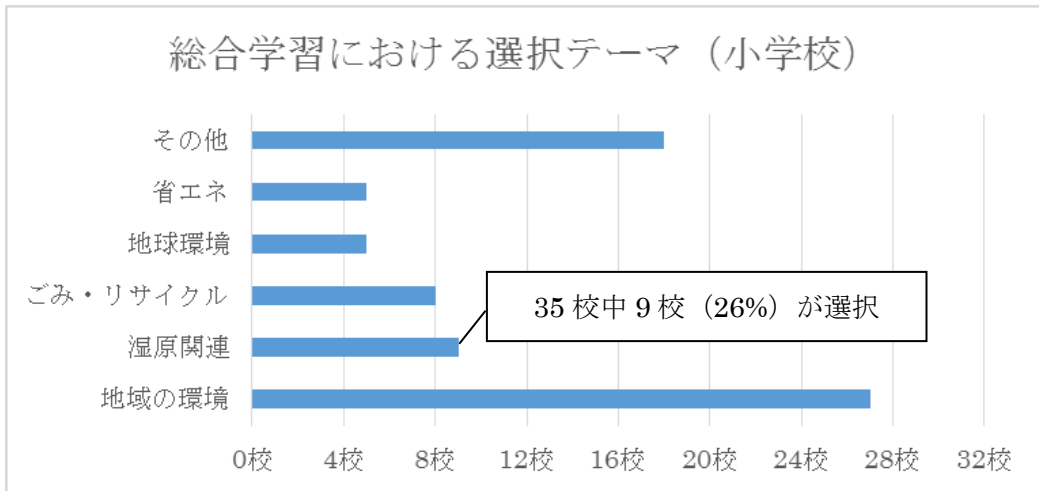
- 回収率 : 小学校 67% (35校回答/全52校)、中学校 77% (23校回答/全30校)
高等学校 25% (3校回答/全12校)

○湿原や釧路川を題材とした学習の実践状況

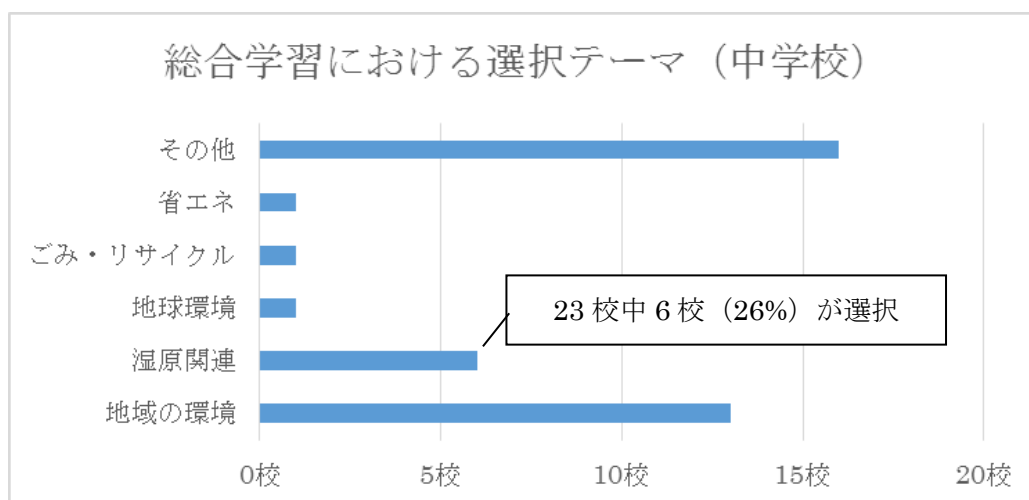




○総合学習における選択テーマ



※「その他」の概要：キャリア教育、福祉教育、アイヌ文化、北方領土、野菜等の栽培活動、地域の伝統技術を学ぶ、観光をテーマとした学習等



※「その他」の概要：キャリア教育、福祉教育、防災教育、情報教育、ボランティア等

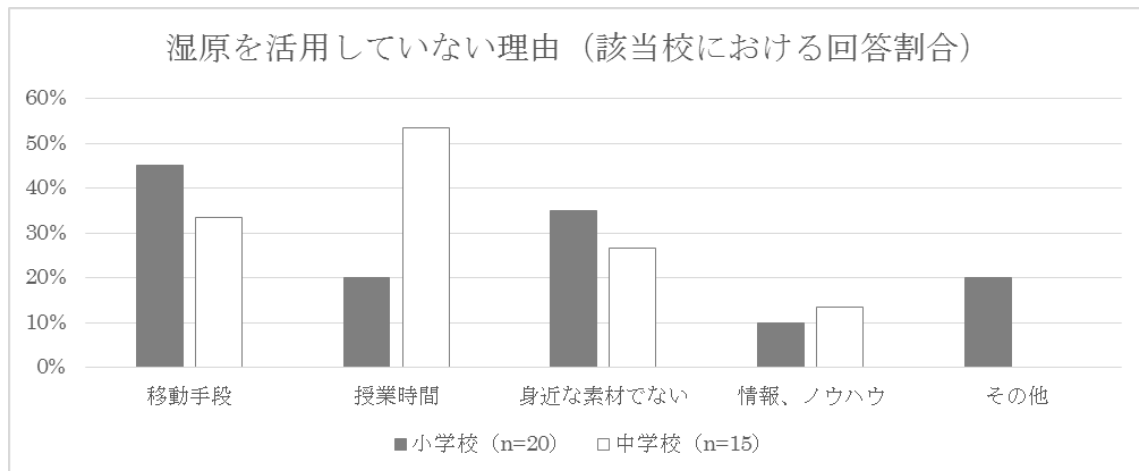
○実践校における実施概要

- ・ 地域内や釧路湿原の動植物等を題材とした調べ学習、温根内、塘路、達古武、湿原展望台などでの観察、湿原探検等。
- ・ タンチョウのえさづくり、タンチョウ越冬分布調査への協力
- ・ 川湯エコミュージアムと連携した環境調査。特に硫黄山、屈斜路湖（含和琴半島）の自然環境調査。
- ・ 釧路川源流川下り、釧路川流域スノートレッキング、「ヤマベ稚魚放流」の体験活動
- ・ 多様なテーマの中から生徒がテーマを選択。
- ・ 地域巡検において実施（国立公園の概要、湿原の形成過程や歴史等の学習、自然観察）
- ・ 湿原強歩大会（強歩遠足）、「釧路の自然」や「釧路の地誌」の授業での学習（選択者が学習）

○湿原や釧路川を学習テーマとして選択している理由

- ・ 周辺の自然環境について調べることを通して、環境保護、共生、共存について考えられるようにしたいから。また、釧路湿原は身近にあるが、どのようなものかよくわからないから
- ・ 自然豊かな地に学校が設置されており、塘路湖や湿原が近郊にあるため。
- ・ 地域を題材とすることで、より身近に体験・取材活動が行えること。また、地域（郷土）のよさやそこで働く人達との交流から自分たちの住む町に愛着と誇りが持てるから。
- ・ 児童にとって身近な素材であり、体験的な学習が可能である。
- ・ 総合学習のテーマが「鶴居の自慢」であり、児童がイメージするものは湿原であったから。

○釧路湿原（釧路川）を題材とした学習を実施していない理由



※高等学校は該当校が1校（移動手段、情報、ノウハウが理由）は上記グラフより割愛。

4 モデル授業のWEBサイトへの掲載、周知活動

湿原を題材としたモデル授業を紹介するコンテンツを新たに作成し、WEBサイト「きづくわかる まもる釧路湿原」に掲載した。今後、PRチラシを作成し、学校に案内することとしている。

学習資料名	内容
大地のつくりと変化 (モデル授業)	小学校6年生理科の単元「大地のつくりと変化」において、北海道教育大学附属釧路小学校で行われた湿原と結びつけた学習活動を紹介。 《掲載資料》 単元指導計画、各自の指導案、関連資料等